

## ○ハリー・ベイ

現役時代は JRA 馬事公苑に所属し、日本産馬として初めて海外の競技会に優勝するという快挙を成し遂げ、帰国後も国内の障害馬術の第一線で活躍した遠野産馬のハリー・ベイ。彼はオリンピック選手と深い関わりがありました。



ハリー・ベイ(セ19歳) 2021年2月 遠野馬の里にて

## 遠野馬通信

馬産地遠野とホースマンを結ぶ  
情報誌

No.58

2021年9月1日

## ○オリンピック選手が騎乗

今回の東京オリンピック馬術競技で見事な成績をおさめたお二人の選手は、以前ハリー・ベイに騎乗されていました。障害個人戦で6位入賞した福島大輔選手(&チャニオン)は、JRA 職員だった2009年1月当時、ベルギーへの海外研修の折に新馬調教技術習得のため7歳のハリー・ベイを帯同しました。同年6月、ルクセンブルクで行われた競技会(CSI2)のスピード&ハンディネス競技で優勝し、海外の選手からも注目を集めたそうです。2010年12月に帰国後、福島選手の後を継いでハリー・ベイの手綱をとったのが、今回総合個人戦で4位入賞した戸本一真選手(&ヴィンシー)で、JRA 馬事公苑馬術大会や全日本障害馬術大会など国内の大きな競技会で活躍しました。福島選手の障害馬術入賞は1932年ロサンゼルスオリンピックで西竹一選手が獲得した金メダル以来、また戸本選手の4位入賞は日本のオリンピック総合馬術史上最高位でした。2020年12月に現役を引退して遠野に戻り、現在は遠野馬の里で穏やかに暮らしているハリー・ベイも、かつてのパートナーに祝福を送っていることでしょう。



福島大輔選手とハリー・ベイ 2011年5月



戸本一真選手とハリー・ベイ 2013年11月



2021年5月 遠野馬の里にて

ハリー・ベイ(セル・フランセ)

2002年2月 小友町生まれ

生産者 菊池栄喜氏

父フロドラジェルベース 母ゾネ